

シンポジウム

「アラブの春」から「イスラム国」へ —無秩序と混乱の広がる中東・北アフリカの現状—



民主化への明るい希望を抱かせた「アラブの春」から一転、「イスラム国」の出現とともに、無秩序と混乱状況が広がっている。とくにシリアでは米ロが軍事介入し、もはや国際紛争の様相を呈し、さらに難民問題は、トルコからEU諸国まで巻き込む深刻な政治・社会問題となっている。なぜ、こうなったのか、今後どうなるのか。2011年以降の中東・北アフリカ諸国の展開を振り返りつつ、現状の理解と今後の行方についてシンポジウム形式で議論します。

講師：

岩崎えり奈氏（上智大学教授）：チュニジアについて
鈴木恵美氏（早稲田大学・主任研究員）：エジプトについて
高岡豊氏（中東調査会・上席研究員）：シリアについて
澤江史子氏（上智大学教授）：トルコについて

司会：

私市正年（上智大学教授・イスラーム研究センター長）

日時：2015年12月5日（土）14：00～17：00
会場：上智大学四谷キャンパス 2号館415室
言語：日本語
事前申し込み不要、参加費無料

主催：上智大学イスラーム研究センター

SOPHIA OPEN RESEARCH WEEKS 2015